



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.810 2011年11月14日

ARIBからのお知らせ

ARIB / TTC 共催「M2M ワークショップ」開催のお知らせ

M2M (Machine to Machine)とは、機械と機械が自律的に通信を行うことにより、様々なシステムを構成、制御する技術を意味します。さらに M2M が一つの核となって、あらゆるモノがつながる世界 (IoT : Internet of Things) へ進展していくことも予想されています。

健康管理、エネルギー、ホームネットワーク、ITS 等移動体、金融、農業や漁業等食料分野、地球環境保全など、人々の生活の様々な分野で M2M ソリューションが期待されており、その一部は既に実用化しています。しかし、これらのシステム開発はソリューション毎に独自に行われているため、開発コストの増大、開発期間の長期化、開発作業の重複などが標準化の観点から危惧されております。

このため、欧州、米国、アジアの電気通信の標準化機関は、これまで独自に進められてきた M2M プラットフォームの標準化の動きを国際統合する新たな枠組み作りの共同検討をしています。日本からは、一般社団法人電波産業会 (ARIB) および一般社団法人情報通信技術委員会 (TTC) が参加しております。各国の標準化機関では M2M の性格から M2M ソリューション開発の業界団体様 (Verticals と呼ばせていただいています) 等との交流がこれまで以上に重要になるとの見方が強くなっています。

そこで今回は、前半に M2M の概要及び国際標準化への取り組みをご紹介します、後半に関係業界様から ICT に関する取組みをご紹介いただいた後、その動きに対する自由形式の意見交換を行う M2M ワークショップを ARIB と TTC の共同で開催いたします。

会員の皆様には、ぜひご参加下さいますようご案内申し上げます。

本ワークショップへの参加をご希望される方は、事前登録制ですので「[TTCホームページ](#)」の[登録フォーム](#)により、お申込みください。

記

- 1 日時 : 平成 23 年 12 月 1 日 (木) 13 : 30 ~ 16 : 00
- 2 場所 : 一般社団法人電波産業会 第 1 ~ 3 会議室 (定員 90 名)
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1 - 4 - 1 日土地ビル 11 階
地図 (<http://www.arib.or.jp/syokai/map/index.html>)
- 3 主催 : 一般社団法人情報通信技術委員会、一般社団法人電波産業会
- 4 対象 : ARIB 会員、TTC 会員、ARIB/TTC M2M-AdHoc メンバ等関係者
(定員になり次第締め切ります。定員超過等でご参加いただけない場合は電子メールにてご連絡させていただきます。)

5 講演概要 (予定) :

- (1) 講演 1 「Outline of M2M」
KDDI 株式会社 古賀 正章 様
- (2) 講演 2 「ARIB/TTC collaboration」
TTC 業際イノベーション本部 富田 二三彦 本部長
- (3) Discussion with Verticals
- 講演 3 「M2M に関する国際連携」
クアルコムジャパン株式会社 内田 信行 様
- 講演 4 「電気自動車 (EV) とスマートグリッドの課題と取組」
日産自動車株式会社 野辺 継男 様
- 講演 5 「自動車における情報通信の課題と取組」
本田技研工業株式会社 榊田 和光 様

(4) フリーディスカッション

6 参加費 : 無料

7 問合せ先 : TTC 業際イノベーション本部 高橋

E-mail: i3cinfo@ttc.or.jp

ARIBの動き

GSC-16/GRSC-9 会合を開催

世界の電気通信の標準化機関の代表者及び専門家が、標準化を進める上で必要となる協力関係を一層緊密なものとするための GSC-16/GRSC-9 (16th Global Standards Collaboration /9th Global Radiocommunication Standards Collaboration) 会合が、カナダ ISACC のホストで開催されました。

期間	:	2011 10月31日(月)~11月3日(木)
場所	:	World Trade and Convention Centre (WTCC) Halifax (カナダ)
参加機関	:	ATIS (Alliance for Telecommunications Industry Solutions) 米国 TIA (Telecommunications Industry Association) 米国 ISACC (ICT Standards Advisory Council of Canada) カナダ ETSI (European Telecommunications Standards Institute) 欧州 CCSA (China Communication Standards Association) 中国 TTA (Telecommunications Technology Association) 韓国 ITU (International Telecommunication Union) スイス ARIB (一般社団法人電波産業会) 日本 TTC (一般社団法人情報通信技術委員会) 日本
参加者	:	各参加機関およびオブザーバなど 約 100 名

本会合は、参加標準化機関間の情報交換、協力促進並びに ITU におけるグローバルな電気通信標準化プロセスを促進することを目的としており、今会合のスローガンは“ICT Accessibility for all (万人のための ICT アクセサビリティ)”でした。

ARIB からは、佐藤常務理事を団長に 3 名が参加し、ARIB および日本の無線通信分野の主要トピックス紹介のほか、「IMT-Advanced の標準化」、「高度 ITS 無線システム」、「移動端末向けのマルチメディア放送」、等に関する活動状況の寄与文書などを提出し、パネルディスカッションに参加しました。また、IMT-Advanced 並びに ITS に関する情報・意見交換を行うために設立されたタスクフォースの活動報告を、責任標準化機関の立場で提出しました。

本会合の成果として、30 件の決議 (TTA 提案の新決議 "Wireless Charging System "を含む)

を採択すると共に、今回合会のミッション、構成、重要議題、成果並びに次回合会のアナウンスなどを記載したコミュニケをリリースしました。

また、東日本大震災等の近年の自然災害を背景に、「緊急通信に関するタスクフォース」を設置することを決定しました。所掌事項等の詳細は、電子メール等で議論して来年1月頃に開催予定のGSC-17に向けた第1回 Head of Delegation (HoD) 電話会議で決定することとしました。

次回第17回会合は、2013年5月20日～23日に韓国の済州島でTTAのホストで実施することがアナウンスされました。

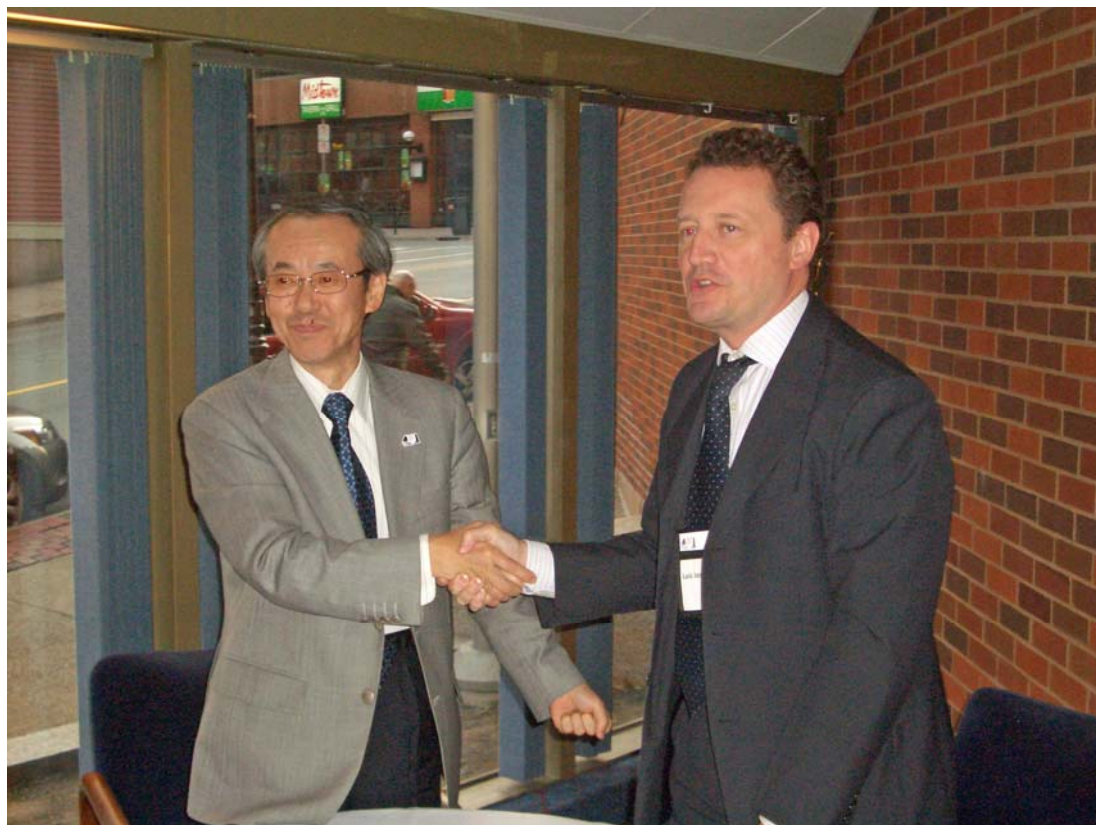
なお、詳細については<<http://www.gsc16.ca/>>をご参照ください。

ETSI と包括的な協力協定を締結

ARIBは、2011年11月1日、カナダのHalifaxにおいて、欧州における標準化の主導的立場にあるETSIと包括的な協力協定を締結しました。

ETSIとARIBは、GSC (Global Standards Collaboration)会合への双方の参加による情報交換や、ETSI主催のGeneral Assembly meetingへのARIBの参加など、これまで相互に緊密な関係を保ってきています。また、2009年10月には、ITSに関するLoI (Letter of Intent)を締結するなど、両者間で個別の案件について協力関係構築の実績もあります。

ARIBは、今後、標準化活動には更なる国際間の協力が重要であると考えており、両者の関係をより一層強化させる所存です。



握手をする佐藤常務理事とETSIのLuis Jorge Romero Saro事務局長

第 178 回業務委員会を開催

第 178 回業務委員会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成 23 年 11 月 9 日(水) 午後 2 時から 3 時 18 分まで
- 2 場所 当会第 2 会議室
- 3 議事概要
 - (1) 第 16 回世界電気通信標準化協調会議 (GSC) の結果についての報告
 - (2) ITS 世界会議の結果についての報告
 - (3) XGP フォーラム総会の結果についての報告
 - (4) 地域 WiMAX 推進協議会総会の結果についての報告
 - (5) 「CEATEC JAPAN 2011」出展の報告
 - (6) 第 82 回規格会議の開催についての説明
 - (7) ETSI との協力協定書の締結についての報告

私とARIB

規格会議作業班 小電力無線局作業班 主任 池田 光
(パナソニック株式会社 先行デバイス開発センター
デバイス基盤グループ マイクロ波モジュール開発チーム
チームリーダー)



小電力無線局作業班 主任を昨年より務めています池田です。私は一貫して高周波関連の研究開発に従事しています。本作業班は構成員を含めると 10 年を超え、その間にアナログからデジタル変調へのシステム高度化の検討および設備規則に携わってきました。

本作業班は、主に特定小電力無線局を中心とした 10mW 以下の小電力無線局(テレメータ等、現在 19 件)の標準規格の検討・策定であり、具体的な審議は本作業班の下に複数のワーキンググループを設置して行っています。

現在は、昨年小電力無線システム(免許不要局)に関して、電波法改正により空中線電力の上限の見直し(従来の 10mW から 1W)が行われたことと、デジタル技術の進展を踏まえたシステムの高度化を行うことにより、従来の課題を克服して利用拡大を目指す検討を開始しました。まず「移動体検知センサー」と「動物検知通報システム」に関して、技術的条件(既存機器との干渉、隣接周波数を利用する他の無線機器への影響、人体への影響等)を関連する会社の方々をワーキンググループメンバに迎え、提案書(最大 1W までの出力増力とキャリアセンス、電波の型式追加等)を作成し、情通審 移動通信システム委員会 小電力システム作業班へ報告しました。その後、移動通信システム委員会への答申が行われ、パブコメが実施されました。官報掲載後、ARIB STD-T73、T99 の改定を行う予定です。

最後に、本作業班で検討する無線局は携帯電話や無線 LAN のような華やかな無線局ではありませんが、今後のライフスタイルを変えていく重要な無線局だと考えています。今後とも標準化活動に皆様のご支援のほど宜しくお願い致します。

ARIB

Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-4-1 日土地ビル11F
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<http://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp